松江圏域緩和ケアに係る情報提供書　　記載要項

　　　　　　　　　　　　　　　　　　松江圏域緩和ケア検討会

H２６．９．１８

（一部変更）Ｈ３１．２．２５

（一部変更）　Ｒ３. ２．９

１．目的

この情報提供書は、地域において緩和ケアを希望するがん患者およびその家族が、病院から地域に帰る際、いつでもどこでも切れ目のない緩和ケアを受けることができるように、患者、家族及び医療従事者が必要な情報を共有するために活用する。

２．対象者

緩和ケアを希望するがん患者で、かかりつけ医あるいは自宅近くの医療機関（以下緩和ケア連携医療機関）での往診、通院あるいは入院を希望する方およびその家族。

３．情報提供書の構成

　　主治医記載用・・紹介経緯、病状、治療経過・内容、患者・家族への説明状況等（様式１）

　　看護師記載用・・病状、生活状況、身体精神的苦痛、看護経過、家族支援等（様式２）

　　薬剤師記載用・・現在の処方、禁忌薬剤、アレルギー、服薬管理等（様式３）

　　患者用・・・・・・在宅生活の不安・希望、病気への不安、医師からの説明内容等（様式４）

　　家族用・・・・・・在宅生活の不安・希望、病気への不安、医師からの説明内容等（様式５）

４．情報提供書の運用方法と手順

情報提供書は、対象者を緩和ケア連携医療機関へ紹介する際、患者や家族の同意のもと、病院より緩和ケア連携医療機関等へ送付されるものとする。

　　【手順】

　　　１）緩和ケアについて患者、家族に情報提供を行ない説明する。

　　　２）患者、家族に情報提供書についての同意を得たうえで、様式４・様式５の記載を依頼する。

　　　３）紹介元医療機関により様式１（主治医記載用）、看護師により様式２（看護師記載用）、薬剤師により様式３（薬剤師記載用）を記載する。

　　　４）原則、様式１～様式５を全てまとめて、紹介先医療機関あて送付する。

　　　　　＊様式１を使用する場合にも、緩和ケアに対する患者や家族の納得が重要であることから、様式４・様式５はできるだけ添付する。